

第四回「石川台中学校 学校改築懇談会」を開催しました

令和5年12月7日に、第四回学校改築懇談会が石川台中学校にて行われました。コンセプト及び施設整備方針のご報告（一部変更）、新校舎の配置計画、記念品等に関することが議題となりました。

次第

- ・挨拶 コンセプト及び施設整備方針の報告（一部変更）
- ・配置計画の提案 ・記念品等に関する報告 ・質疑応答

実施日時：令和5年12月7日（木）
18時00分から19時00分
場 所：石川台中学校 視聴覚室

第三回にてご報告しましたコンセプト及び施設整備方針（案）について、一部文言の変更をご報告するとともに、施設整備方針をどのように新しい学校に反映させていくか、平面図の案をもとに具体的にご説明しました。（裏面参照）

□コンセプト（変更前）

石川台中学校の伝統と学年を超えたあたたかい繋がりを尊び、多様性を受容するアットホームな学び舎
～「言葉の力」**「考え方」**「未来を切り拓く力」を育む、新しい時代にふさわしい彩り豊かな学びの空間の実現～

□コンセプト（変更後）

石川台中学校の伝統と学年を超えたあたたかい繋がりを尊び、多様性を受容するアットホームな学び舎
～「言葉の力」**「感性」**「未来を切り拓く力」を育む、新しい時代にふさわしい彩り豊かな学びの空間の実現～

■施設整備方針

学び：国語教育や学校図書館を中心に学習意欲を刺激する空間づくり

- ・学校図書館を中心としたラーニングcommonsを誰もが立ち寄りやすい場所に配置
- ・ラーニングcommonsにはコンピューター教室、多目的室、大村はま先生ゆかりのコーナーを併設し、複合的な学びの場として計画

生活：心身ともに豊かな3年間を過ごせる心地良い空間づくり

- ・ぬくもりがあり心地良い、明るく開放的な校舎
- ・南向きで風通しの良い普通教室
- ・広い廊下をフリースペースとして設置し、先生や生徒同士のコミュニケーションを活発化

共創：誰もが「共に育つ」ことができる多様な学びの空間づくり

- ・普通教室や特別教室と連携し、発展的な学びが可能な学年ごとの多目的スペース
- ・特別支援教室、特別支援学級のさらなる充実 等



文部科学省：新しい時代の学びを表現する学校施設の在り方（5つの姿の方向性）より引用

環境：呑川緑道軸に接する豊かな周辺環境調和し、省エネルギー化を目指した施設づくり

- ・周辺環境と調和し、「緑豊かな学校」というイメージを継承する周辺、屋上緑化計画

安全：防犯や防災に配慮し、誰もが利用しやすく安心安全な施設づくり

- ・水害時にも避難所として利用可能な防災機能の整備

記念品等に関する報告

教育委員会にて、現時点で把握している記念品（校歌パネル、表彰状、パネルアート、オリンピック関連等）や記念樹類（けやき、開校50周年けやき、宇宙けやき、管理職記念樹、創立30周年記念「けやきの子」像等）のご報告を行いました。

今後残してほしいもの、残せない場合についてのご意見を頂きました。



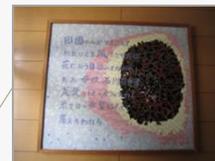
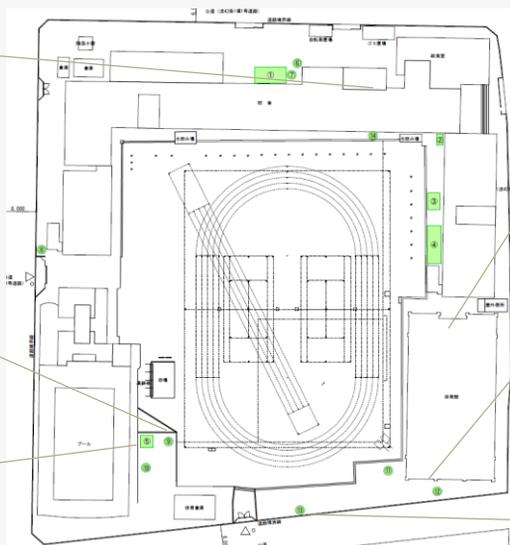
例：オリンピック関連



例：けやき



例：創立30周年記念
けやきの子像



例：タイルアート（校歌）



例：校歌（体育館）



例：宇宙けやき

